徳島県立椿泊漁港荷さばき所



令和８年度公共建築月間　徳島県県土整備部営繕課

概要

工事名称：徳島県椿泊漁港荷さばき所
工事場所：徳島県阿南市椿町
工事内容：新築工事（改築）
構造規模：鉄骨造平屋一部３階建て
建築面積：3,153.99㎡
延床面積：2,763.26 ㎡
工　　期：令和6年7月4日～令和7年11月30日（建築物主体）

設計･監理･施工

設計：株式会社橘建築事務所
監理：株式会社橘建築事務所
施工：〈建　築　工　事〉八千代組・坂本工務店・司工務店共同企業体
〈電　気　工　事〉徳真電機工業株式会社
〈管　　工　　事〉阿水工業株式会社
〈空　調　工　事〉三晃産業株式会社
〈舗　装　工　事〉だいまつ建設株式会社

県下初の県立荷さばき施設

徳島県阿南市椿町に位置する「徳島県立椿泊漁港荷さばき所」は、県南部の産地漁港として、水揚げされた魚介類を仕分け、消費地市場へ出荷する水産物の流通拠点として整備し生まれ変わりました。高度な衛生管理に基づく流通拠点として県内初めて整備した県立荷さばき施設であり、今後の徳島の水産業の発展を下支えすることが期待されます。

椿泊漁港荷さばき所　鳥瞰



高度衛生管理と明確なゾーニング

施設内を「高度衛生エリア」「衛生エリア」「一般エリア」に明確に区分し、それぞれ衛生基準と管理レベルを変えることで安定した衛生レベルを担保できる設計としています。

阿南市内7漁協の漁獲量を一つの施設に集約することで、活魚水槽、魚類移送設備、冷凍冷蔵設備など、規模に応じた設備を最適に配置できる、作業効率を考慮した空間設計としています。



作業効率を考慮した大空間

防災・減災対策

建物全体に耐震性を備えつつ、重要な受変電設備を津波の想定高さを上回る３階に配置することで、災害発生後の早期の出荷再開が可能な設計とし、３階部分には地域住民が避難できるスペースも確保されており、地域の防災拠点としての役割も担う設計としています。



３階の避難可能スペース

GXを取り入れた次世代型の施設運営を考慮

GX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みとして、PPA方式による太陽光発電システムを導入し、自然エネルギーを活用できる片流れ式の大屋根としています。